



発行所 公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

事故ゼロへ
トライ重ねる
ワンチーム

県消防課・県広域防災センター・ 県消防防災航空隊派遣期間終了と着任

(公財) 兵庫県消防協会



派遣解任辞令交付

令和三年三月三十一日(水)
県災害対策センター会議室にて、県内各消防本部から派遣された職員の派遣期間終了の辞令交付式が執り行われました。

派遣期間を終了された皆様には、その豊富な知識と経験を活かし、県消防防災の強化に尽くしてくださいました。心からの感謝とお礼を申し上げます。今後のご活躍・ご健勝を祈念しております。

防協会長からも、消防団員の教育訓練にご尽力いただいたことに対する感謝状が贈呈されました。

この度の解任と着任は次のとおり。

◎解任

【兵庫県消防課】
安藤 健彦
(神戸市消防局)

【兵庫県広域防災センター】
米田 里美
(神戸市消防局)

松本 知人
(西宮市消防局)

保坂 和彦
(加古川市消防本部)

芳田 直樹
(川西市消防本部)

山口 令
(北はりま消防本部)

西 祐介
(三田市消防本部)

【兵庫県消防防災航空隊】
水野 厚
(神戸市消防局)

知野見和之
(神戸市消防局)

川浪 成人
(宝塚市消防本部)

高見 洋輔
(神戸市消防局)

津田 宏
(赤穂市消防本部)

◎着任

【兵庫県消防課】
北川 貴之
(神戸市消防局)

【兵庫県広域防災センター】
中村 繁孝
(神戸市消防局)

浜口 浩
(西宮市消防局)

村木 照幸
(西はりま消防本部)

桐山 享之
(三田市消防本部)

浜上 英典
(豊岡市消防本部)

羽田 匡宏
(三木市消防本部)

木澤 洋平
(高砂市消防本部)

川添 真弘
(小野市消防本部)

【兵庫県消防防災航空隊】
宮本 卓弥
(神戸市消防局)

立脇 龍也
(神戸市消防局)

岩倉 徹
(神戸市消防局)

植田 友幸
(豊岡市消防本部)

盛島 信之
(神戸市消防局)

梅澤 太陽
(丹波市消防本部)

「兵庫消防」地区通信員について 「広報紙「兵庫消防」の充実に向けて」

兵庫県消防協会事務局

昨年度より、年四回の発行となりましたが、変わらず県・消防協会及び各支部の事業やその他最新の消防事情等を掲載して、中身の濃い充実した広報紙を目指してまいりますので、今後ともご愛顧いただければ幸いです。

本年度の地区通信員をご紹介します。(敬称略)

○神戸地区
神戸市消防局 亀田 廉行

○阪神地区
芦屋市消防本部 中田 雅俊

○東播磨地区
明石市消防局 種原 英修

○中播磨地区
姫路市消防局 三輪 文哉

○北播磨地区
北はりま消防本部 西山 将史

○西播磨地区
赤穂市消防本部 長田 文弘

○但馬地区
新温泉町 小谷 英寿

○丹波地区
丹波篠山市 善明 浩二

○淡路地区
淡路市 西濱 雅樹



兵庫県防災関係幹部紹介

(令和3年4月1日)

防 災 監	藤原俊平
防 災 企 画 局 長	計倉浩壽
防 災 企 画 局 長	松久士朗
防 災 企 画 局 長	小野山正
防 災 企 画 局 長	前阪一彰
防 災 支 援 課 長	高崎和則
防 災 支 援 課 長	西島健治
防 災 支 援 課 長	中道一義
防 災 支 援 課 長	堀井昭彦
防 災 支 援 課 長	北田輝彦
防 災 支 援 課 長	柴田義博
防 災 支 援 課 長	森田克彦
防 災 支 援 課 長	三宅晴彦

兵庫県知事選挙

投票日 7月18日(日)

【期日前投票のできる期間】
7月2日(金)~7月17日(土)
そろって投票しましょう!!



令和三年度 第八六期 初任教育入校式挙行!! 一三一名が消防士として訓練の第一歩を踏み出す!

(公財)兵庫県消防協会



体力測定



令和三年四月五日(月)、兵庫県広域防災センターにて第八六期初任教育入校式が挙行されました。今年度の入校式も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、来賓の方々にはご臨席いただかず、教育生と教官の方のみの入校式となりました。

消防士として採用された新規職員は、六ヶ月におよぶ全寮制のもと、消防士として必要な体力・気力・知識・技術を習得するため、厳しい訓練を受けなければなりません。

入校式後には早速、体力測定が実施され、教育生達は精一杯取り組みました。六ヶ月間の訓練は、厳しく辛いこともあるでしょう。しかし、頼もしい教官方に導いていただきながら、同期の皆さんと共に乗り越え、逞しい「消防士」として九月の卒業式を迎えていただきたいと思っています。



新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症対策には、皆さまおひとりお一人のご協力が必要です。

手洗いうがいの徹底、3つの密を避けること、不要不急の外出自粛など、大切な人の命を守るため、引き続きご協力をお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症についてのお問い合わせはこちらまでお願いします。

●兵庫県 24時間対応コールセンター (予防・検査・医療に関するご相談)

電話 : 078-362-9980

F A X : 078-362-9874

●兵庫県緊急事態措置コールセンター (その他、緊急事態措置等に関するご相談)

電話 : 078-362-9921

受付時間: 午前9時~午後6時 (土日祝を除く)

画像出典: 厚生労働省ホームページ

手洗い



うがい



マスク



新型コロナウイルスの感染拡大を予防するための

ひょうごスタイル

って、

ウイルスとの共存を意識した生活習慣

感染拡大を予防するための日常生活【ライフスタイル】

各場面の行動スタイル

ni 000000

「3密」の回避

① 身体的距離 (ソーシャルディスタンス) の確保

できるだけ **2m**、最低 **1m**。

② マスクの着用、咳エチケットの徹底

③ 手洗い・手指消毒
手洗いは **30 秒程度**。石けん・消毒薬の利用

④ 体温測定・健康チェック

※ 体温測定の状況が変化すれば毎日実施

⑤ 発熱時や体調不良時は特に注意

いつ誰とどこで会ったかを記録



感染拡大を予防するための働き方【ワークスタイル】

自然災害と感染症との複合災害への備え

※ 「新型コロナウイルス感染症に対する避難誘導ガイドライン」の活用
※ 毎旦災害に対応するための事前準備
・自然災害と感染症との「複合災害」に備え、避難場所・避難経路の確認や避難手段の検討等について、事前に準備
・避難手段に当たっては、「マイ避難カード」や「ひょうご防災ネット」アプリを活用

買い物

- ① 店舗、電子決済の活用
- ② 現金への接触は避ける
- ③ レジに並ぶときは、前後に2メートル
- ④ 目線を立て、1人又は少人数で短い時間に乗車(乗車)

電車・バスの利用

- ① 乗車は控えめに
- ② 混んでいる時間帯を避ける
- ③ 換気や換気扇も活用する

食事

- ① 持ち帰りや外食、デリバリーも活用
- ② 自然、ガラスやプラスチックの飲み物は避ける
- ③ 利用するときは、換気して食べる
- ④ 食後は控える
- ⑤ 飲食・飲み物は換気扇の上を必ず通す

娯楽・スポーツ等

- ① 混雑している時期、場所を避ける
- ② 換気扇や換気口は必ず換気扇を回す
- ③ 予約制や人数制限を実施する
- ④ 換気扇は、必ず自然換気設備がオンラインで

イベント等

- ① 参加人数の多い場所は参加しない
- ② 換気扇がアプリ、換気システムの活用

消毒



除菌



換気



なんだ?

兵庫県

兵庫の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力をお願いします。



令和三年度 危険物安全週間標語ポスター

消防庁では、危険物の保安に対する意識の啓発及び高揚を推進するために、毎年六月の第二週は「危険物安全週間」としています。

また、危険物安全週間の行事を推進するため、広く一般から、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集したところ、今年度の推進標語は、「事故ゼロヘ トライ重ねる ワンチーム」に決定しました。

今年度のポスターは、ラグビー 東芝ブレイブルーパス所属のリーチ マイケル選手がモデルです。危険物を安全に取り扱い、事故を未然に防ぎましょう！



令和三年度危険物安全週間標語
「事故ゼロヘ
トライ重ねる
ワンチーム」

消防庁

消防個人年金のご案内

消防団員・消防職員の皆様、少子高齢化による公的年金の受給年齢引き上げにより、安定した老後の生活には備えが必要です。消防個人年金に加入してみませんか。

消防個人年金は、地域のためにがんばっている消防団員・消防職員の皆様のためにご用意した制度です。資産の積立や税制上の優遇としてのご利用にもお勧めです。ゆとりある将来・安定している将来を消防個人年金で描いてみませんか？



7 消防個人年金 つのポイント！

毎月加入
できます！

- 1 最長70歳まで積立てが可能な公的年金の補完ができる制度です。
- 2 予定利率（※）1.25%（平成30年4月1日現在）
※将来変動することがあります。
- 3 月払、半年払、月払・半年払併用から選択でき、月払の場合、毎月10,000円から加入できます。（ゆうちょ銀行の口座から振替の場合は5,000円）さらに、加入時・加入期間中に、まとまった資産を一時払として払い込むことができます。
- 4 保険料は、生命保険料控除の対象になります。
- 5 消防団員・消防職員の退団・退職後も継続できます。
- 6 途中で脱退しても積立金（脱退一時金）を受け取ることができます。
- 7 現在約22,000名の方が加入され、約11,000名の方が年金を受け取られています。

（お問い合わせ先）
公益財団法人 日本消防協会 年金共済部 0120-658-494

消防団ピックアップ

『今できることを』

宝塚市消防団

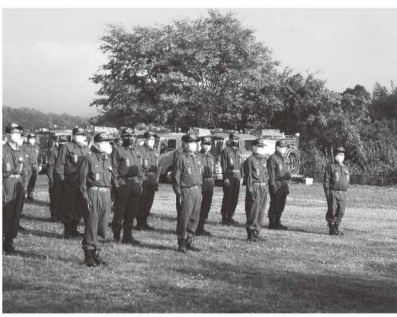
宝塚市は、県南東部に位置し、市域は南北に細長く、住宅地が広がる南部市街地と、豊かな自然に囲まれた北部農村地域に分かれています。

歌劇のまちとして知られる宝塚市では明治半ば頃から温泉開発が進み、鉄道の開通ともあいまって、観光地として発展してきました。そして大正初期には宝塚歌劇が誕生し、「歌劇と湯のまち宝塚」の名は広く全国に知られるところ

の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症により、当初予定していた訓練等の実施について、消防団活動は大きな影響を受けました。

しかしながら、どのような状況下においても住民の安全と安心の確保を絶対の使命とする消防団は、常に研鑽に励み、災害対応力を向上させ続けなければなりません。

そのために、この様な状況下においても、団員の安全を確保しつつ今できることを考え、各種訓練を実施しました。



開会式も間隔をとって実施

宝塚市消防団は、昭和二九年四月、宝塚市の誕生とともに発足しました。昭和五〇年には、南部市街地の常備消防力拡充に伴う消防団組織の改編を行い、現在は、自然を体験できる施設や観光農園、そして宝塚北サーブエリアを管轄する北部農村地域を拠点として、一〇分団一八〇名、また令和二年七月に発足した機能別消防分団九名で活動しています。

昨年発生し、未だ完全終息



訓練礼式・表彰受領の様子

今この状況に則した訓練の開催方法を検討し、一〇分団を二日間に分け、さらに同じ実施日の中でも参加人員を二班に分け、全員がマスクを着用し、万全の感染対策をした上で訓練を実施しました。



下肢切創防止用保護衣を装着し、チェーンソー取扱訓練を実施

消防訓練礼式及びチェーンソー取扱訓練を実施

今この状況に則した訓練の開催方法を検討し、一〇分団を二日間に分け、さらに同じ実施日の中でも参加人員を二班に分け、全員がマスクを着用し、万全の感染対策をした上で訓練を実施しました。

消防訓練礼式については基本となる各個訓練や小隊の編成を新人・ベテラン関係なくもう一度おさらいし、辞令や

『温かい人と街を守るために』

新温泉町消防団

新温泉町は、兵庫県北西部に位置し、北は日本海、東と南は香美町、西は鳥取県に接する地域で、内陸部は千メートル級の山々に囲まれています。

また、平成二二年一〇月に世界ジオパーク加盟が認定された山陰海岸ジオパークの中

に位置し、山陰海岸国立公園、水ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園などの自然公園指定区域を有しており、その面積は町全体の四六・三%を占めています。

面積二四一平方メートル、人口約一万四千人の、「海・山・温泉」と豊かな自然環境に恵まれた温もりの町です。

我が町の特徴として、町内約一、一〇〇軒(全世帯の約二〇%)の家庭では、蛇口をひねると温泉が出てきます。

引き込み可能な地域であれば、新築でも中古物件でも、温泉暮らしをはじめることが可能です。温泉配湯戸数は日本一とも言われています。

新温泉町消防団について平成一七年一〇月一日、町合併と同時に、旧浜坂町消防団と旧温泉町消防団が統合し、新たに新温泉町消防団として発足しました。

浜坂支団と温泉支団の二支団を有し、西岡安雄団長以下六八九名の団員で、火災や災害から地域住民の生命・身体・財産を守ることを使命として、常日頃から風水害や土砂災害などの自然災害に備えて、土嚢作りや土嚢積み訓練、林野火災を想定した中継訓練、さまざまな災害を想定した図上訓練など行なっています。

近年の課題としては、年々消防団員数が減少しており、新入団員の確保も難しくなっていることが挙げられます。

また、団員の中には町外勤務者も増えてきており、昼間の火災などに対応できる者が少

なくなっていることも、地域防災力の低下に影響しています。

消防団員数の減少に歯止めを掛けるための特効薬というのはありませんが、子どもたちに消防車や消防装備に触れさせる機会を設けたりするなど、長期的な視点から消防団のイメージアップを図ることや、自主防災会と連携して、

初期消火訓練の指導に当たるなど、日頃から地域と交流を深めていくことも、大切な活動だと考えています。

その外にも、在籍している消防団員一人ひとりの質を向上させることや、団員の処遇改善を図ることなどが、今後の課題となつてきます。

地域防災力の要である消防団の活動は、少子高齢化の社

会にあつては、今後も更に必要性が高まってくる見込まれています。

新温泉町消防団はこれからも町民の信頼と期待に応えられるよう、郷土愛護の精神のもと団員一丸となつて、安全に安心して暮らせるまちづくりを目指して、引き続き消防団活動に取り組んでまいります。

われら若手消防団員

はしご乗りを通して



加古川市消防団西神吉分団 松浦 正樹

私が消防団に入団してからの七年間で、もともと印象に残っているのは、出初め式においてははしご乗り演技を行ったことです。地上五メートルの高さで演技を行うので、最初は恐怖のあまりはしごに乗れませんでした。特に、はしご上で逆立ちになりはしごから体が前へ飛び出す「しゃちほこ」という演技の習得にかなり苦労しました。しかし、練習を重ねる中で諸先輩方や救助隊員の方々に、熱心に指導していただき、出初め式当日には、納得のいく演技ができました。はしご乗りは、はしごを支えている九人と、はしごに乗る一人の絶対的な信頼関係がなければ成り立ちません。はしご乗りを通して、

分団の皆さんとの団結力が益々高まつたと思います。そして、はしご乗りに携わってくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

毎年二月に地元の神社の厄除祭ではしご乗り奉納を行っており、今まで乗り手をされていた先輩からバトンを受け継ぎ、神社でも乗り手を務めるようになりました。歴代の先輩方に恥じないように乗ることで、生まれ育った地域への感謝の気持ちを持って乗るよう心がけています。

私は、今年度より班長になり、今度は私が後輩たちを指導する立場になりました。自分自身も、後輩たちに自信を持ってバトンを渡せるようより一層消防団活動に励み、そして地域の安心安全を守るため、微力ながら精一杯頑張っていこうと思えます。



消防出初め式はしご乗り演技の様子



がんばってます、女性消防団員

『港島地域の女性消防団員として』

水上消防団港島分団 住宅部 片岡 あゆみ

水上消防団港島分団は、ポトアイランドの防災面や救急面で、地域の人々の安心と安全を支援することを目的に活動しています。

ポトアイランドは、神戸市の南に位置し、周囲を海に囲まれた人工島で、医療産業が集積され、大規模な工場・倉庫・空港がある非常に特殊な地域です。

港島分団の管轄区域には、現在一三の集合住宅があり、居住者は約一五、〇〇〇人です。私たちが女性消防団員は防災訓練の支援や指導・港島夏祭り・海上花火大会・神戸マラソンの警備、さらに年末年始特別警戒での地域の夜間パトロールなど男性団員と共に活動しています。

私は、平成三〇年に港島分団住宅部へ入団しました。小学生の子供を持つ親として、不安な面もありましたが、先輩団員の方々の指導や励ましを頂きながら頑張っています。

港島分団住宅部は、現在二四名の消防団員が在籍し、うち、三名が女性団員です。各々が消防団活動とは別に仕事を携っているため、月に一度



出初式にて

の住宅部会議でしか三人が揃って顔を合わせる機会はありませんが、消防団として活動する地域行事にはできる限り参加し、女性団員同士の協力体制を固めたいと思っています。

地域の防災を担うための委員会が二年前に発足され、現在内容の充実化に向け活動が進められています。私も消防団員の一人として、災害時に体や足の不自由な人達の救済方法や避難などをどのようにするかなど、いざという時の予備知識を備えておくことが今後の課題であると考えています。地域に貢献できる『やりがい』と『意気込み』を忘れることなく、今後も消防団の活動に励みたいと思います。

わが町の団長さん

「心優しき クルマ屋さんの 消防団長」

神戸市灘消防団 今井 進



神戸市灘区は、今年九月に区政九〇周年を迎える歴史ある町です。

この地域は緑豊かな六甲山・摩耶山や都賀川の清流があり、穏やかな瀬戸内海に面した、大変魅力ある住みやすい町です。

その地域で安全を守る神戸市灘消防団は、女性団員二〇名を含む、総勢二二八名(令和三年四月一日現在)の市街地消防団です。その神戸市灘消防団の団長は、灘区内で自動車販売・整備業を営む今井 進(六九歳)さんです。

今井団長の略歴は、平成元年に地元神戸市灘消防団第六分団に入団した後、平成九年に分団長、平成二八年に副団長、そして令和二年から第一〇代消防団長として、長年地元で活動しています。

阪神・淡路大震災を目の当たりにした今井団長の motto は、「自分たちの町は、自分たちで守る! 地域の防災力をますます強化して、区民をはじめ消防団員からも信頼される『地域防災の要』となる

消防団」になること」です。

今井団長は、この motto により地域の各種防災訓練のほか、地元神社の祭礼においても地域伝統文化の発展継承者として、熱心に取り組んでいます。

昨今、消防団員の確保や自然災害対応など、消防団を取り巻く環境は、非常に厳しい状況ですが、「一三万人あまりの灘区民が安全で安心して暮らせるまちづくりに貢献する」と決意された「心優しきクルマ屋さん」の消防団長です。

「目指せ『安心・安全な街長田』」

神戸市長田消防団 赤木 康孝



神戸市長田区は市の中央部に位置し北に高取山、南に長田港があり南北に細長い地域で、令和元年には「新長田合同庁舎」(県市合同庁舎)が竣工され、活気あふれる街です。

赤木団長は、阪神・淡路大震災の時に幼稚園に勤務しておられ、その幼稚園が地域住民の避難所になっていました。その時に分団長をはじめとする消防団員の活躍に感動したことが入団の契機となりました。

「安心・安全な街」との思いを胸に平成八年一〇月に入団、平成二八年四月からの副団長を経て令和二年四月に団長に就任しました。

副団長の時には、各分団の支援会規約の構築や入団促進事業に尽力され、当時一二六名であった団員は、現在一五〇人の定員のうち一四七名と大幅に増加しています。

就任初年度は、コロナ禍の中でいかに訓練や点検を実施するかを悩まれ、消防団活動の重要性を考慮し、感染防止に留意して七月より訓練を開始しました。

令和三年度も、南海トラフ地震や風水害等の様々な災害を想定した防災訓練を実施できるように、防災福祉コミュニティや自治会等の地域住民と連携しています。

消防団活動に全力で取り組むとともに定員の充足率一〇〇%を目指し、長田区の「安心・安全な街」を目指し日々努力されている団長です。

「安全・安心・迅速」

神戸市北消防団 採田 芳博



神戸市北区は六甲山系の北側に広がる市内で最大の面積を有しており、自然に恵まれ、貴重な数々の文化財を身近に

感じることができる「古きよき」が残された地域です。この地域を管轄している北消防団は有馬、有野、山田、道場八多、大沢、長尾、淡河の八つの支団で構成されています。採田団長は令和二年四月、北消防団長に就任されました。昨年からの新型コロナウィルス感染症の流行により活動の場は限定されますが、その様な中でも感染防止を踏まえた消防団活動ができるよう積極的に取り組んでおられます。

神戸市が新たに導入した「消防団スマート情報システム」は、団員がLINEアプリから送信した災害現場の情報や、支援情報を発信するだけでなく、団員の安全を早期に確認する安全確認機能も備えています。活動できる団員を早期に把握するもので、今後、発生が予測される南海トラフ地震においても消防団員の安全確保や活動の支援に非常に有効です。

採田団長がこれからも北区の安全と安心のため益々活躍されることを期待いたします。

〈お詫び〉

兵庫消防令和三年一月号「第三五回危険業務従事者叙勲が令和二年一月三日に発令」の記事において、誤植がございました。

三頁、七段目

(誤) 元南但広域行政事務組合 消防指令 佐藤清四郎

(正) 元南但広域行政事務組合 消防司令 佐藤清四郎

お詫びして訂正いたします。